

## エントリー標準タイムについて

日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の大会運営にご協力いただき感謝いたします。

今大会のエントリー標準タイムは以下の通りです。エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示し、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることが条件です。また、エントリー標準タイムは、「当該種目と同様の競技形式」です。ご注意ください。エントリー標準タイムを設定することにより、大会運営上、競技者やテクニカルオフィシャルへの負担が軽減されるとともに、全日本選手権として競技レベルの向上が期待されます。

また、今大会より標準タイムの見直しをいたしました。各種目の世界記録を基準に、男女平等の比率に設定し、競技レベルのさらなる底上げならびに世界でのレースを意識していただくように見直しを図りました。

### ■第 36 回（2023 年度）全日本プール競技選手権のエントリー標準タイム

<種目別エントリー標準タイム> ※表記は (分):(秒).(100 分の 1 秒)

種目（個人種目のみ）	エントリー標準タイム	
	男子	女子
障害物スイム（200m）	2:55.40	3:08.91
マネキンキャリー（50m）	49.09	59.02
レスキューメドレー（100m）	1:43.79	2:00.67
マネキンキャリー・ウィズフィン（100m）	1:21.47	1:31.21
マネキントウ・ウィズフィン（100m）	1:30.69	1:42.49
スーパーライフセーバー（200m）	3:06.50	3:28.21

<注意>

1. チーム種目にはエントリー標準タイムを設けません。
2. 過去の JLA 主催または公認大会の記録を申告する場合は、過去 5 年以内の大会の記録であれば認められます。
3. エントリータイムは、自己申告とします。JLA の過去の主催または公認大会の記録以外、たとえばクラブの練習会などで測定した記録も認められます。エントリーの際のタイム申告は、組（ヒート）を決定するための資料としますので慎重に申告してください。
4. エントリーの際、申告タイムは 100 分の 1 までのタイムを記入してください。
5. 虚偽の申請をした場合、あるいは、大会の記録がエントリー標準タイムから著しく遅い場合、チーフレフリーの判断により競技者本人およびクラブ代表者に対して処分を検討することがありますので注意してください。

以上